

# 甲府市議会だより

第 86 号

平成 2 年 8 月 1 日

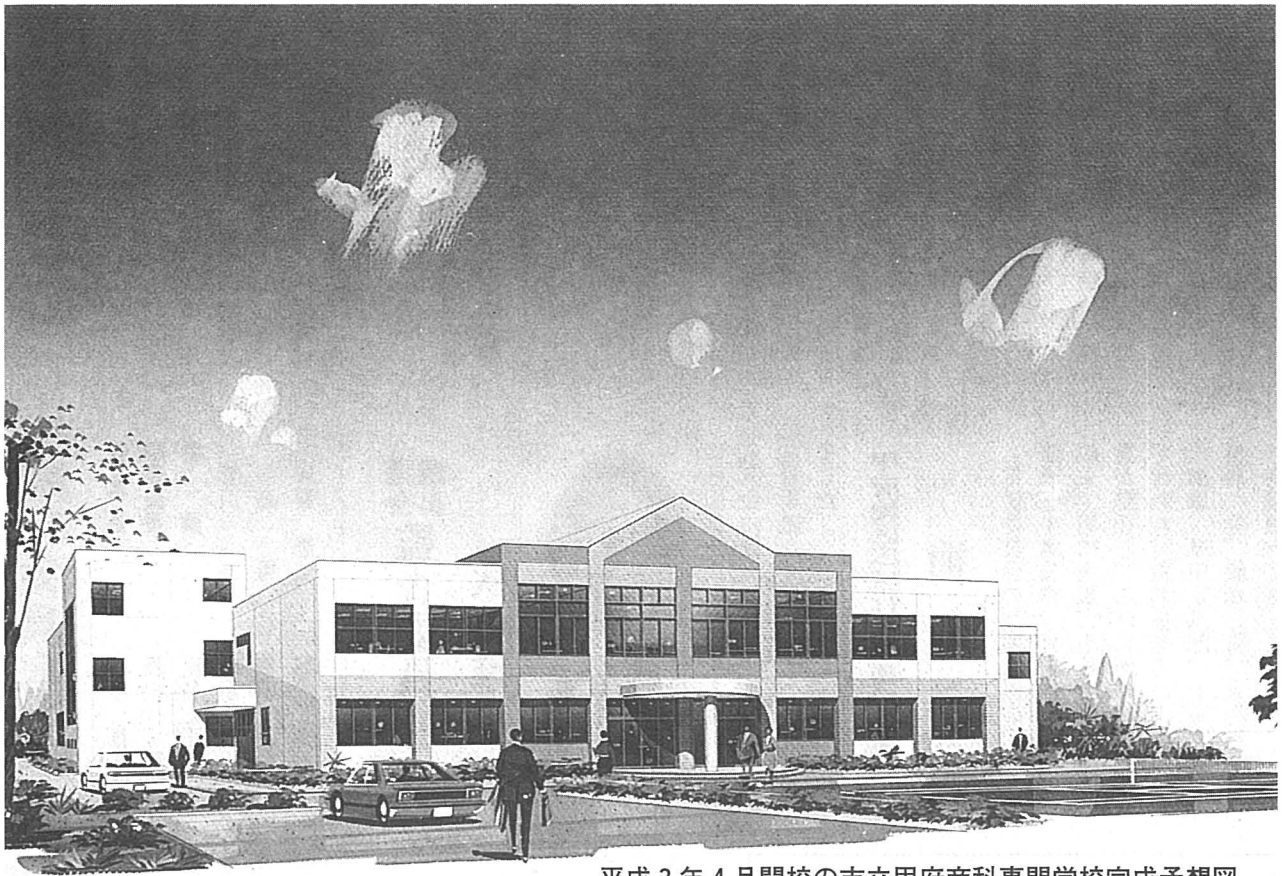
編集・発行

甲府市議会だより

編集委員会

電話 (35) 7054

甲府市議会事務局



平成 3 年 4 月開校の市立甲府商科専門学校完成予想図

## 議長に堀口菊雄氏当選 副議長は宮島雅展氏

6月定例会

就任あいさつ



甲府市議会副議長

宮島 雅展



甲府市議会議長

堀口 菊雄

六月定例会において、議員全員の御推挙により栄誉ある議長、副議長に就任いたしました。

私共にとりまして、誠に身に余る光栄であり、責任の重大さを痛感している次第であります。

本年度は、一連の市制施行百周年記念事業の成功をバネに、二十一世紀を展望した新しい時代に大きく飛躍する年度であります。

市議会といたしましても、二十万都市にふさわしい「活力ある健康都市・甲府」の実現のため、市民の皆様の積極的な御協力を賜りながら、御意見、御要望が十分行政に反映されるよう努力をいたす所存であります。

今後ともより一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさついたします。

おもな内容・ページ

- ① 正副議長就任あいさつ
- ② 議会の構成決まる
- ③ 一般質問・定例会質問要旨
- ④ 一般質問
- ⑤ 意見書・委員会審査の主な内容
- ⑥ 請願・陳情の審査結果
- ⑦ 議会関係各室案内
- ⑧ 新常任委員の紹介

# 議会の構成決まる

六月定例会は、六月二十九日に招集され、会期を八日間と決め、正副議長など議会の構成と市長から提出された補正予算、条例の制定及び一部改正、請負契約の締結など四十一議案について審議しました。正副議長の選出については、指名推せんにより、第七十一代議長に堀口菊雄氏（市政クラブ）が、第八十二代副議長には宮島雅展氏（平成クラブ）がそれぞれ当選されました。

また、議会における内部審査機関として、条例により設置をされている四つの常任委員会、並びに議会運営に関する議長の諮問機関である議会運営委員会の委員を選任し、さらに組合議員、議会選出監査委員等を選出して議会構成を終わるとともに、提出された議案についていずれも原案のとおり可決され閉会しました。

## 総務委員会 八人

- 委員長 森沢 幸夫  
副委員長 大村幾久夫  
委員 早川 武男 中西 久  
原田正八郎 福島 勇  
鈴木 豊後 岡 伸

## 経済都市開発委員会 九人

- 委員長 剣持 庸雄  
副委員長 皆川 巖  
委員 川名 正剛 小沢 綱雄  
飯島 勇 内藤 幸男  
堀内 光雄 石原 貞夫  
小林 康作

## 文教委員会 八人

- 委員長 小野 雄造  
副委員長 宮川 章司  
委員 清水 節子 内藤 秀治  
上田 英文 斉藤 憲二  
秋山 雅司 加藤 裕

## 建設委員会 九人

- 委員長 細田 清  
副委員長 堀内 征治  
委員 堀口 菊雄 三井 五郎  
宮島 雅展 牛奥 公貴  
依田 敏夫 村山 二永  
中込 孝文

## 議会運営委員会 九人

- 委員長 清水 節子  
副委員長 細田 清  
委員 皆川 巖 川名 正剛  
福島 勇 内藤 幸男  
斉藤 憲二 依田 敏夫  
堀内 光雄

## 議会選出監査委員に

### 秋山雅司氏



議会選出の監査委員斉藤憲二氏の辞職に伴い、新たに秋山雅司氏を選任する議案が今定例会に提出され、採決の結果、全員異議なく同意することと決しました。

## 甲府地区広域行政事務組合議員

### 補欠選挙

常任委員会の改選に伴い、清水節子、牛奥公貴、村山二永、依田敏夫、堀内光雄、小林康作の各議員が辞任し、これに伴う補欠選挙が行われ、指名推せんにより、小沢綱雄、原田正八郎、上田英文、福島 勇、飯島 勇、大村幾久夫の各議員が当選しました。

## 都市構想に関する調査特別委員の変更

本市議会に設置されている「都市構想に関する調査特別委員会」の堀口菊雄、宮島雅展の各議員が辞任し、後任に原田正八郎、岡伸の各議員が就任しました。

## 農業委員を推せん

農業委員の任期満了に伴い、市長から依頼のあった学識経験を有する者の中から選ぶ委員の推せんが行われ、早川武男、牛奥公貴、依田敏夫、岡 伸、堀内光雄の各議員を全員異議なく推せんすることに決しました。

**六月定例会**

審議日程

6月29日(金)	開会、提案理由の説明
30日(土)	休会
7月1日(日)	休会
2日(月)	本会議、質疑及び
3日(火)	市政一般質問
4日(水)	本会議、質疑及び市政一般質問、各常任委員会付託
5日(木)	各常任委員会
6日(金)	本会議、各常任委員長報告、閉会

## 千野議員逝去



甲府市議会議員千野 哮氏は、六月定例会開会直前の六月二十七日心不全のためご逝去されました。故千野議員は、昭和五十四年四月初当選以来連続三期十一年余にわたり議員活動をされてきました。今後のますますの御活躍を願っていた矢先のことと誠に悔まされてなりません。謹しんでご冥福をお祈り申し上げます。

**千野議員逝去**

甲府市議会議員千野 哮氏は、六月定例会開会直前の六月二十七日心不全のためご逝去されました。故千野議員は、昭和五十四年四月初当選以来連続三期十一年余にわたり議員活動をされてきました。今後のますますの御活躍を願っていた矢先のことと誠に悔まされてなりません。謹しんでご冥福をお祈り申し上げます。



市政に対する一般質問は、2日、3日、4日の3日間行われ、5名の議員が市政の考えをただしました。質問と答弁の一部について、要旨をここに掲載します。

# 市長の政治姿勢

## 三選に対する

### 考えは

〔問〕 明年行われる市長選について、市長自身の考え方を示せ。

〔答〕 来春行われる市長選につきましては、いずれ私自身が判断すべき時期がくるわけですが、今はただ与えられた任期を、第三次総合計画の着実な推進に全力を注いでまいることが私の責務であると思っております。

今後とも、議会をはじめ市民の皆様との温かい御指導と御支援をお願いしたいと思います。

## 水道水源地の保護対策は

〔問〕 市民の生命とくらしに直結する水道水源地の保護対策を示せ。

〔答〕 水道水源地の保護に向けて条例制定を検討してきましたが、荒川水源のみでなく、井水・地下水への対応等についても、総合的に検討する必要があるため、条例化には、なお時間を要すると思えます。

したがって、条例制定までの間、荒川水源に関しては、指導要綱で対応することと致しました。内容につきましては、水源保護問題懇話会の提言を尊重し、現在の水質をこれ以上悪化させないための排水基準値の設定に取り組んでいるところであります。

## リニア実験線 駅設置とアクセス

〔問〕 リニア実験線の駅設置誘致運動と都市基盤整備等への対応を示せ。

〔答〕 甲府圏域の一市五町では、昭和六十三年に「リニア中央エクスプレス甲府圏域建設促進協議会」を設立して、リニアモーターカーの実験線の誘致とともに、圏域への停車駅の設置を国、県に対して要望してまいりました。

これは、圏域発展のメリットは、リニアの通過ではなく、停車駅の設置と秩序ある地域開発にあると考えたからです。

従って、本協議会を通じて国、県にその早期決定を働きかけるとともに、国土利用計画法に基づく地価の監視区域の指定等の権限を持つ知事に対し、市民福祉の立場から、適正かつ合理的な土地利用の確保に実効ある施策を講じられるよう強く要望していく考えです。

また、停車駅の位置や関連都市施設の整備及びリニアアクセス交通手段の整備等のために、都市計画決定の必要性が認められる場合には、国、県の指導を受けながら対応し、都市基盤の整備には、一市五町等広域的な連携を図りながら取り組んでいきたいと思えます。

## 平成2年6月定例会質問要旨

氏名	党派	質問の要旨
鈴木豊後	社会党・市民連合	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長の政治姿勢について</li> <li>環境行政全般について</li> <li>教育行政</li> <li>(一) 商科専門学校について</li> <li>(二) 代替え教員確保について</li> <li>その他</li> </ul>
秋山雅司	公明党	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長の政治姿勢について</li> <li>家賃補助制度について</li> <li>環境問題</li> <li>(一) 地球環境保全都市宣言について</li> <li>(二) 環境保全設備に対する補助金制度について</li> <li>老人福祉について</li> <li>多世代住宅融資について</li> <li>リニアに関する都市構想について</li> <li>生涯教育について</li> <li>P.T.Aの負担軽減について</li> <li>その他</li> </ul>
加藤裕	日本共産党	<ul style="list-style-type: none"> <li>知事四選問題について</li> <li>被爆者援護法早期制定について</li> <li>千代田ゴルフ場問題について</li> <li>中学校給食について</li> <li>その他</li> </ul>
皆川巖	市政クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>商科専門学校設置について</li> <li>新病院建設と心臓カテーテル装置の導入について</li> <li>総合市民会館開設について</li> <li>ファッション都市甲府構想について</li> <li>中央四E地区市街地再開発について</li> <li>中央公民館建て替えについて</li> <li>事務処理の効率化について</li> <li>その他</li> </ul>
依田敏夫	平成クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型プロジェクトと財政計画について</li> <li>土地利用の課題について</li> <li>農政について(米の自由化等)</li> <li>ゴミ減量化と新清掃工場について</li> <li>北部山岳振興について</li> <li>その他</li> </ul>

# 総合市民会館

## 運営方法は

〔問〕総合市民会館の運営方法について示せ。

〔答〕会館の運営方法は、直営と法人等によるものがありますが、それぞれメリット、デメリットがあり、どの方法を選択するか難しい問題であります。

本市の総合市民会館は、多目的複合施設でありますので、この施設を一体的に運営し、なおかつ、市民に気軽に利用でき親しまれる会館とするためには、教育委員会が、運営管理の基幹的部分を直営で運営することがより良いと考えております。

しかし、専門に係る技術・技能的な部分については、民間の特性を生かし業務委託方法で運営してまいりたいと考えております。

現在までの検討の経過では、本会館については、直営と委託を並立することにより効率性を高めていきたいと思っております。

## 個人情報保護 対象範囲は

〔問〕個人情報保護を条例により制度化する自治体が増加しているが、本市の場合の対象範囲を示せ。

〔答〕本市では、情報の公開と保護の両面から、その取扱い制度の整備を図るため、三年前に公文書公開条例を制定し、今議会に、電子計算組織に係る個人情報の保護に関する条例を提案させていただきました。

この条例は、電子計算組織により処理する個人情報に限定し、保護を行うものであります。

個人情報以外を対象範囲に含めることについては、この条例施行後の経過を見極めるとともに、社会・経済の動向及び国・他の自治体等の推移を見守るなかで検討を進めてまいりたいと考えております。

## 地球環境

### 本市の施策は

〔問〕環境問題は、今や地球的規模で対策が講じられているが、本市の対応を示せ。

〔答〕環境行政を推進することは、行政として当然の責務であり、環境保全審議会をはじめ関係機関の御意見、御提言をいただきながら行政・地域住民及び企業等が一体となり、都市美化、環境衛生の推進、公害の防止、ごみの減量化、再資源化等快適な環境づくりを強力に推進してまいります。

## 新病院建設の 見通しは

### 見通しは

〔問〕現在の病院は、老朽化・狭隘化と慢性的な駐車場不足等により市民に不便をかけている。

新病院建設の場所も含めた見通しを具体的に示せ。

〔答〕新病院の建設につきましては、平成八年の開院を目的に、現在、病院内のプロジェクトチームにより、医療を直接担う者の立場から準備作業を行っている段階であります。

病院の建設場所の決定は、すべてに優先する課題でありますので、十分に調査研究を行い、その上で基本構想の策定に結びつけていきたいと考えております。

甲府圏域における地域医療のあり方を、包括的にとらえて、総合的に検討し、真に市民に喜ばれる病院づくりに取組んでまいります。

## 新清掃工場

### 石和町との 共同処理は

### 共同処理は

〔問〕石和町との共同処理についての考え方を示せ。

〔答〕石和町との共同処理につきましては、事務レベルでの検討結果を踏まえ、庁内組織の「甲府市ごみ処理施設建設委員会」において、双方の公益性等総合的に検討を行ったところ、共同処理を実施すべきであるとの結論に達しました。

一方当初、反対の強かった地元三町においては、早期着工、早期完成を条件として、ご理解をいただきました。

共同処理を実施する場合の前提と致しましては、双方共通の課題である最終埋立処分場用地の確保及び地域住民の同意を得ることが必要不可欠と考えます。

この課題について、石和町と協議を行ったところ、行政間としまして誠意ある方向が見出せつつありますので、平成三年度着工に向けて共同処理の実施に努力してまいりたいと考えております。

## 商科専門学校の 教員の確保は

### 教員の確保は

〔問〕教員、講師等の確保について示せ。

〔答〕専修学校設置基準によりますと、商業実務系の専門学校に置かなければならない専任教員数は、学生総定員を百二十人とすると、本校の場合四人以上（初年度の学生数六十人では、三人以上）となりますが、本校は教育課程からみて、他の単科制の学校より教員も

多く必要となります。従って、採用につきましては、厳しい状況もありますが、初年度必要とする教員につきましては、一応確保できる見通しであります。今後、さらに優秀な教員の確保に向けて努力してまいります。

## 第三次総合計画

### 大型プロジェクトの 財政計画は

### 財政計画は

〔問〕二十一世紀を展望した第三次総合計画の大型プロジェクトの財政計画を示せ。

〔答〕二十一世紀を展望し、活力と魅力ある都市づくりを推進するための第三次総合計画の六十三年度から平成三十二年を見通した財政規模は、七千七百八十四億円を予定しております。このうち、都市基盤の整備や地域プロジェクトの推進を中心とした投資的事業費は、二千二百四十二億円であり、歳出に占める構成比は、二十八・八割であります。

歳入の財源構成は、国、県補助金一千二百二十一億円（十四・五割）、市債八百三十四億円（十・七割）等の特定財源を見込み、一般財源の主要をなす市税収入五千二百九億円、構成比六十六・九割、平均伸長率五・二割を充ち、事業の推進を図っていく計画であります。

# 意見書 関係機関 へ提出



政 府  
関 係 機 関

## 育児休業法の 早期制定に 関する意見書

働く女性は年々増え続け、平成元年度には、千七百四十九万人に達し、全労働者の三十七・四パーセントを占め、日本の経済社会の発展に大きく貢献している。

すでに、女性の労働人口の過半数が職業に就き、生涯にわた

って職業を持つ女性が増え、更に増加する傾向にある。

このため、労働団体をはじめ婦人団体、多くの女性労働者は、男女雇用機会均等法の審議の段階から、職業と家庭生活を両立させるために、雇用を継続したまま、一定期間、育児のために休業できる法律の制定を強く求めてきたが、男女雇用機会均等法第二十八条において、事業主が育児休業制度を導入するよう努力することを規定するにとどまった。

しかし、育児休業制度の普及率は、わずかに十九・二パーセント(特定職種を限定した現行法を含め)、零歳児の保育施設は極めて少なく、職業と育児の両立が困難なため、退職せざるを得ないと言う環境は変わっていない。

このため、妊娠した女性労働者の三十パーセントが出産、育児を理由に退職しており、仕事と育児を両立させるための施策の推進は、男女雇用機会均等法を定着させるために緊急を要する課題となっている。

先進工業国では、すでに、昭和四十年代より育児休業の法制化が進み、家庭の責任を持つ男女労働者に対する施策の柱として、定着している。

よって、甲府市議会は、政府に対し、育児休業手当の検討など、女性の働く権利を保障し、労働者家族の福祉を増進するために、育児休業法を早期に制定するよう強く要請する。

右、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出いたします。

平成二年七月六日  
甲府市議会

### 常任委員会

#### 審査の

#### 主な内容

### 総務委員会

◆甲府市印鑑条例の改正について  
甲府市印鑑条例の一部を改正する条例制定については、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、議案に関連して、電子計算機導入に伴う印影による印鑑証明の発行について、銀行等関係機関へ十分な周知を図り、事務処理の万全を期すよう要望する意見がありました。

◆電子計算機導入に伴い、市民の基本的な人権の擁護を  
甲府市電子計算組織に係る個人情報保護に関する条例制定については、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、個人情報保護審議会委員の内学識経験を有する委員の任命にあたっては、専門知識を熟知している者を選考するよう要望する意見がありました。

### 民生 文教 委員会

◆教員の確保と事務局体制の万全を  
甲府市立甲府商科専門学校設置及び管理条例制定について、甲府市立甲府商科専門学校授業料、入学検定料条例制定について及び請負契約の締結についての三案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、これらに関連して、必要とする教員の確保と事務局体制の万全を期すとともに甲府商業高校卒業生に対する推薦制についても適切な方途を構じ、二十一世紀を目指した時代に応えられる人材の養成と定着を図り、本県唯一の公立の商科専門学校を設立した効果が十分発揮されるよう要望する意見がありました。

### 経済 都市開発 委員会

◆請願五件、陳情二件を継続審査に  
本委員会に付託された「千代田湖ゴルフ場建設中止を求める請願」など請願五件、「道路計画に対する陳情」など陳情二件については、議会閉会中継続審査すべきものと決しました。

### 建設 水道 委員会

◆付託十九案件を可決  
七月四日の本会議において当委員会に付託された平成元年度甲府市下水道事業特別会計補正予算に係る専決処分ほか十八案件について、慎重に審査した結果、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。



# 請願・陳情の審査結果

## 請願

▽採択されたもの

### 【総務委員会】

- 育児休業法の早期制定を求める請願 (日本労働組合総連合会山梨県連合会々長・早川陽一郎ほか)
- 「ゆとり宣言」の決議を求める請願 (日本労働組合総連合会山梨県連合会々長・早川陽一郎ほか)

▽継続審査するもの

### 【総務委員会】

- 医療制度の改善を求める請願 (いのちと健康を守る山梨県民連絡会代表・山内正海)
- 県営住宅家賃への消費税転嫁を廃止する意見書の提出を求める請願 (消費税反対甲府各界連絡会々長・相沢平次郎ほか)

○建設省甲府工事事務所の機構拡充を求める請願 (全建設省労働組合甲府支部支部長・河野良次)

### 【民生文教委員会】

- 中学校給食の実施を求める請願 (中学校給食を実現する連絡会代表・中村綾子ほか)
- 寝たきり老人等の介護に対する介護手当制度創設について (甲府市城東四丁目十六ー十八・坂本繁造)

○現南公民館の継続使用について (伊勢地区老人大学々長・長田孝之)

### 【経済都市開発委員会】

- 千代田湖ゴルフ場建設中止を求める請願 (山梨中央市民生活共同組合北西中ブロック運営委員会代表・植松悦雄ほか)
- 千代田湖ゴルフ場開発計画中止を求める請願 (新日本婦人の会甲府支部代表・榎原亮子)
- コメ輸入反対・食管制度廃止反対に関する請願 (山梨県農業・農民団体連絡会議代表・今津 茂)
- ゴルフ場建設中止を求める請願 (山梨・水と緑を守る会代表・鈴木章方)

○食糧と環境を守り、日本農林業の再建のためにコメの市場開放、農産物・木材の輸入拡大阻止を求める請願 (食とみどり、水を守る山梨県民会議代表・坂本誠二郎)

## 陳情

▽継続審査するもの

### 【総務委員会】

- 「原爆被害者援護法」制定の促進に関する陳情 (山梨県原水爆被害者の会々長・高橋 健ほか)

### 【経済都市開発委員会】

- 道路計画に対する陳情 (甲府市朝日二丁目十八ー十三・篠原 襄ほか)
- 朝日二丁目愛宕町線道路計画に対する反対陳情 (甲府市武田二丁目一ー十二・栗林正茂ほか)

## 議会を

### 傍聴しましょう

本会議では、皆さんの代表である議員の活動や、市政の方針、審議状況を直接傍聴することができます。

傍聴手続きは、直接議場(市役所本庁舎二階)に来ていただき、傍聴人受付簿に自己の住所、氏名、年齢等を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

次の定例会は、九月の予定です。お誘い合わせのうえお越しください。

## 市議会だより

### 編集委員

六月定例会が終わり、私共新しい編集委員による「市議会だより」をお届けします。

「市議会だより」の編集にあたっては、より多くの議会活動を市民の皆様へ、わかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。お気付きの点、ご意見などございましたらお気軽にお寄せ下さい。

- 委員長 堀口 菊雄
- 副委員長 宮島 雅展
- 委員 清水 節子
- 森沢 幸夫
- 石原 貞夫
- 堀内 征治
- 加藤 裕

議会事務局 37-1161  
内線二五四

## 市民の皆様へ

公職選挙法の改正により、暑中見舞などのあいさつ状が禁止となりましたので、市民の皆様のご理解をお願い申し上げます。

甲府市議会議員一同

## 甲府市議会決議

### ゆとり創造宣言

すべての国民が生活にゆとりをもち、充実した自由な時間とるおいのある生活がえられるようになることは、人間性豊かな社会の建設にとってきわめて重要である。しかし、わが国の労働時間の現状は、欧米諸国と比較して、年間で二百時間から五百時間も長く、そのため、国民の生活に充実した自由な時間と潤いが欠如しており、豊かさが実感できない大きな要因となっている。

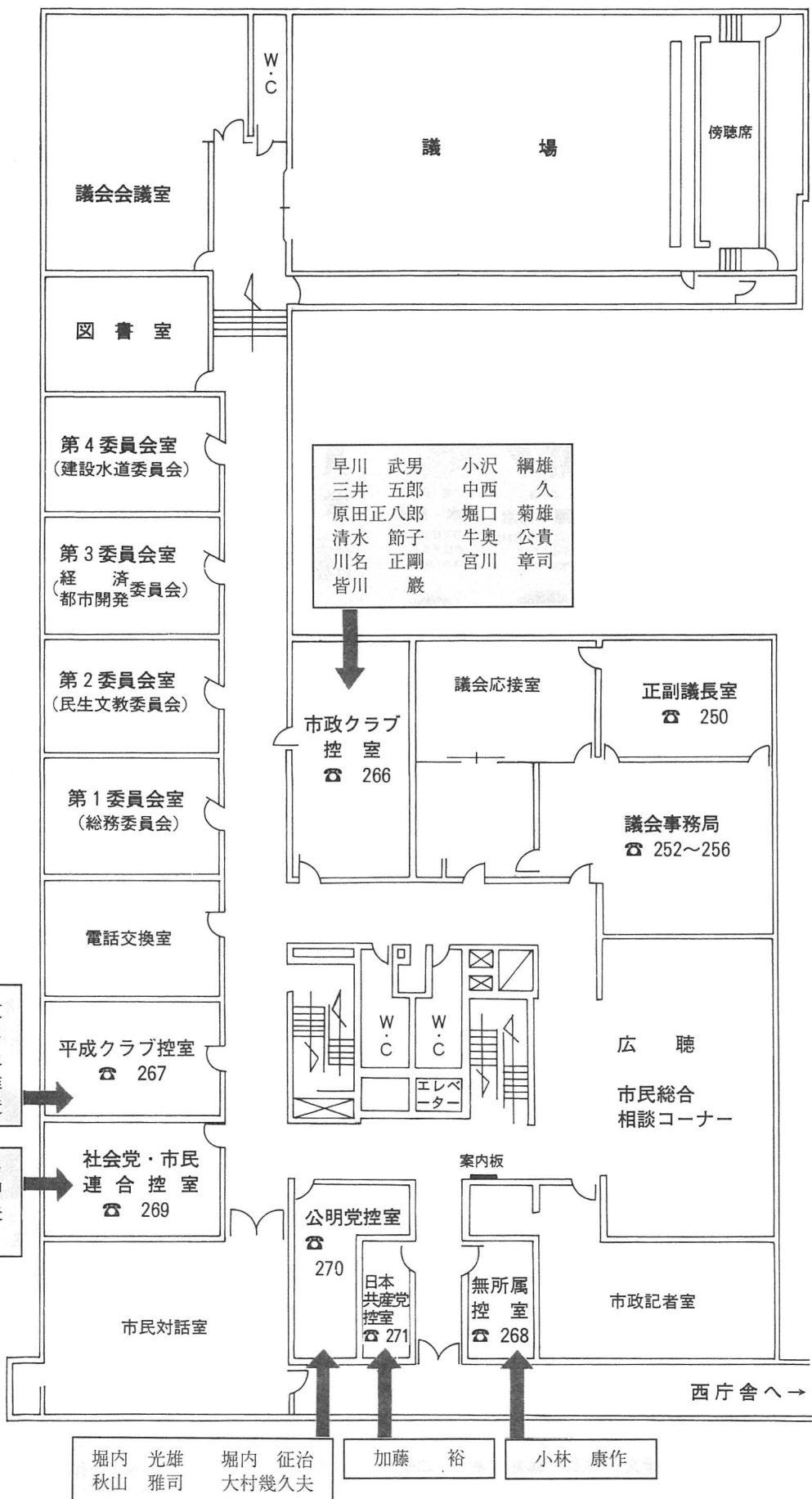
甲府市議会は、労働と休暇のバランスがとれ、日々団らんのある暮らしがえられるよう、労働時間短縮、生活環境の整備等、条件整備の推進に全力をつくし、ゆとりある社会の実現を目指してここに「ゆとり創造宣言」を行う。

平成二年七月六日

甲府市議会

# 議会関係各室案内

電話代表  
(0552) 37-1161



早川 武男	小沢 綱雄
三井 五郎	中西 久
原田正八郎	堀口 菊雄
清水 節子	牛奥 公貴
川名 正剛	宮川 章司
皆川 巖	

内藤 秀治	上田 英文
内藤 幸男	福島 勇
宮島 雅展	村山 二永
依田 敏夫	剣持 庸雄
森沢 幸夫	小野 雄造

鈴木 豊後	飯島 勇
中込 孝文	岡 伸
斉藤 憲二	石原 貞夫
細田 清	

堀内 光雄	堀内 征治
秋山 雅司	大村幾久夫
加藤 裕	小林 康作

議会関係各室の案内図です。  
議員の控室は本庁舎二階にあります。  
また、本庁舎入口右側に議員登庁表示板が設けてありますので、議員に面談などご用の方は表示板をご確認の上、議会事務局までお申出ください。

〔本庁舎正面入口〕

# 新常任委員の紹介

(平成2年7月6日改選)

- 一 福祉部の所管に属する事項
- 二 市立甲府病院の所管に属する事項
- 三 教育委員会の所管に属する事項



副委員長  
**宮川 章司**  
桜井町585番地の1  
市政クラブ  
☎32-0566



委員長  
**小野 雄造**  
湯田一丁目4番3号  
平成クラブ  
☎35-3457



委員  
**上田 英文**  
下鍛冶原町994番地  
平成クラブ  
☎41-6600



委員  
**内藤 秀治**  
飯田三丁目10番16号  
市政クラブ  
☎22-9093



委員  
**清水 節子**  
伊勢四丁目21番1号  
市政クラブ  
☎35-6510



委員  
**加藤 裕**  
千塚五丁目15番39号  
日本共産党  
☎51-6973



委員  
**秋山 雅司**  
千塚四丁目7番20号  
公明党  
☎51-1618



委員  
**斉藤 憲二**  
富竹二丁目8番16号  
社会党・市民連合  
☎26-3336

## 民生文教委員会

(定数 九名)  
現員 八名



副委員長  
**大村幾久夫**  
下飯田四丁目6番20号  
公明党  
☎28-7669



委員長  
**森沢 幸夫**  
千塚四丁目1番8号  
平成クラブ  
☎52-0013



委員  
**原田正太郎**  
太田町9番15号  
市政クラブ  
☎37-3191



委員  
**中西 久**  
美咲一丁目2番11号  
市政クラブ  
☎51-3109



委員  
**早川 武男**  
善光寺三丁目2番8号  
市政クラブ  
☎32-1222



委員  
**岡 伸**  
上町1484番地  
社会党・市民連合  
☎41-3722



委員  
**鈴木 豊後**  
池田三丁目10番28号  
社会党・市民連合  
☎51-5080



委員  
**福島 勇**  
山宮町86番地  
平成クラブ  
☎52-2701

## 総務委員会

(定数 九名)  
現員 八名

- 一 環境部の所管に属する事項
- 二 建設部の所管に属する事項
- 三 下水道部の所管に属する事項
- 四 水道局の所管に属する事項



副委員長  
**堀内 征治**  
宮内町39番地の8  
公明党  
☎41-8886



委員長  
**細田 清**  
川田町346番地  
社会党・市民連合  
☎37-1591



委員  
**宮島 雅展**  
寿町15番4号  
平成クラブ  
☎26-5048



委員  
**牛奥 公貴**  
善光寺三丁目3番32号  
市政クラブ  
☎35-5851



委員  
**堀口 菊雄**  
国母五丁目3番35号  
市政クラブ  
☎26-5843



委員  
**三井 五郎**  
東光寺二丁目21番11号  
市政クラブ  
☎35-0903



委員  
**中込 孝文**  
酒折二丁目2番14号  
社会党・市民連合  
☎32-5383



委員  
**依田 敏夫**  
上石田三丁目2番26号  
平成クラブ  
☎22-2356



委員  
**村山 二永**  
古上条町398番地の1  
平成クラブ  
☎41-3705

## 建設水道委員会

(定数 九名)  
現員 九名

- 一 経済部の所管に属する事項
- 二 都市開発部の所管に属する事項
- 三 中央卸売市場の所管に属する事項
- 四 用地室の所管に属する事項
- 五 工業団地建設室の所管に属する事項
- 六 農業委員会の所管に属する事項



副委員長  
**皆川 巖**  
丸の内三丁目6番2号  
市政クラブ  
☎22-5313



委員長  
**剣持 庸雄**  
羽黒町1390番地  
平成クラブ  
☎52-5391



委員  
**飯島 勇**  
大手一丁目3番4号  
社会党・市民連合  
☎52-6758



委員  
**内藤 幸男**  
塩部三丁目2番23号  
平成クラブ  
☎52-9185



委員  
**川名 正剛**  
西田町5番43号の1  
市政クラブ  
☎52-2532



委員  
**小沢 綱雄**  
青沼二丁目5番7号  
市政クラブ  
☎35-1476



委員  
**小林 康作**  
愛宕町196番地の1  
無所属  
☎53-0982



委員  
**堀内 光雄**  
青沼一丁目2番22号  
公明党  
☎35-6437



委員  
**石原 貞夫**  
大津町19番地  
社会党・市民連合  
☎41-7887

## 経済都市開発委員会

(定数 九名)  
現員 九名